

報道機関各位

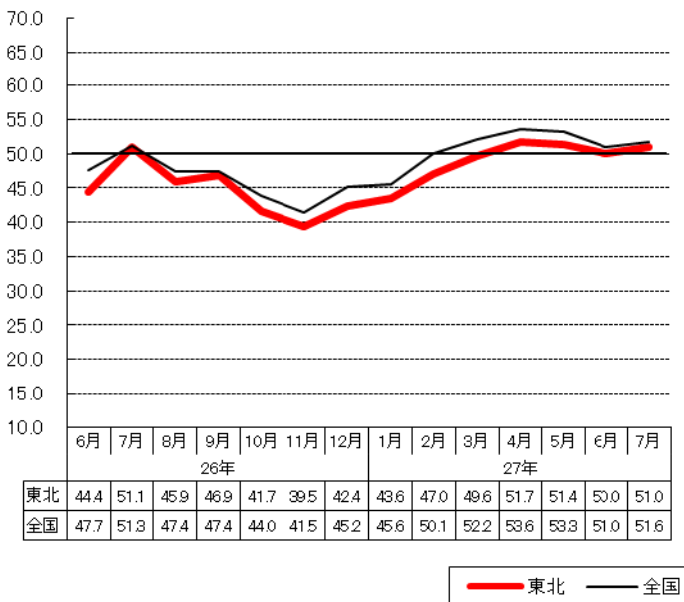
公益財団法人東北活性化研究センター
「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成27年7月東北分
(新潟を含む東北7県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪 誠・東北電力(株)取締役会長）は、このほど、「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成27年7月東北分（新潟を含む東北7県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断DIは「51.0」と3か月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+1.0ポイントとやや上回り、4か月連続で景気判断の基準となる50以上となった。

現状判断DIの推移



・家計動向…衣料品専門店、百貨店等の小売関連や旅行代理店等サービス関連でDIが低下しているが、乗用車販売店、その他専門店、高級レストラン等はDIが改善している。DIは「48.7」(+0.1)と2か月ぶりに前月を上回ったものの、基準値50を2か月連続で下回った。

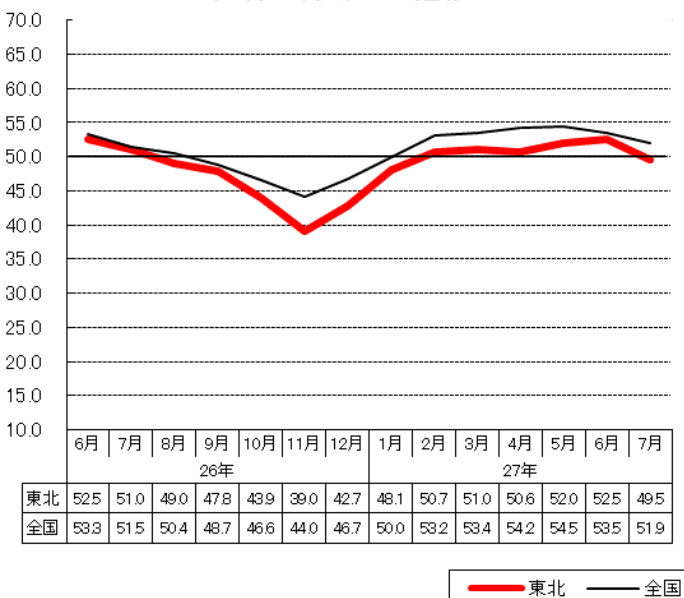
・企業動向…製造業の一部の業種でDIが前月より下回っているものの、それ以外の業種では、DIが前月から横ばい、もしくは改善している。DIは「56.1」(+0.7)と2か月連続で前月を上回り、基準値50を2か月連続で上回った。

・雇用動向…DIは「56.0」(+7.1)と2か月ぶりに前月を上回り、基準値50を2か月ぶりに上回った。

2. 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

先行き判断DIは「49.5」と3か月ぶりに前月を下回った。前月と比較し▲3.0ポイントとやや悪化し、景気判断の基準となる50を6か月ぶりに下回った。

先行き判断DIの推移



・家計動向…旅行・交通関連の観光型ホテル、飲食関連の一般レストランや小売関連のスーパー等でDIが前月から低下している。DIは「49.3」(▲1.7)と2か月連続で前月を下回り、基準値50を6か月ぶりに下回った。

・企業動向…司法書士・経営コンサルタント、広告代理店や輸送業等、非製造業で前月からDIが低下している業種が多い。DIは「48.2」(▲8.3)と2か月ぶりに前月を下回り、4か月ぶりに基準値50を下回った。

・雇用動向…DIは「53.6」(▲0.9)と、3か月ぶりに前月を下回ったが、基準値50を3か月連続で上回った。

<参 考>

■D Iの推移※

(1) 現状判断(方向性) D I

	26年							27年						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
東北現状	44.4	51.1	45.9	46.9	41.7	39.5	42.4	43.6	47.0	49.6	51.7	51.4	50.0	51.0
家計動向関連	43.5	49.8	44.8	46.2	40.2	38.6	41.3	42.5	46.0	49.1	51.6	53.0	48.6	48.7
企業動向関連	42.9	52.4	47.0	50.0	44.0	40.5	44.6	44.6	50.0	50.6	53.0	46.4	55.4	56.1
雇用関連(参考)	53.4	56.8	51.1	45.5	46.6	43.2	45.5	48.9	47.7	51.1	50.0	51.1	48.9	56.0

(2) 先行き判断D I

	26年							27年						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
東北先行き	52.5	51.0	49.0	47.8	43.9	39.0	42.7	48.1	50.7	51.0	50.6	52.0	52.5	49.5
家計動向関連	52.4	50.3	49.7	47.9	43.5	38.1	41.8	47.3	51.0	51.2	50.7	52.8	51.0	49.3
企業動向関連	53.0	52.4	46.4	51.2	45.2	40.5	44.6	51.8	50.0	49.4	51.2	50.0	56.5	48.2
雇用関連(参考)	52.3	52.3	50.0	40.9	44.3	42.0	45.5	46.6	50.0	52.3	48.9	51.1	54.5	53.6

※D I (Diffusion Index) について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 平成 27 年 7 月 25 日～31 日

回答者数 198/210 名、回答率 94.3%(全国 1,864/2,050 名、90.9%)

以上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター (担当: 萱場 喜樹)
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10
TEL: 022-225-1426 FAX: 022-225-0082

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（１）現状判断理由

○「良くなっている」

（電気機械器具製造業）…各分野において、受注状況は好調のようである。建設関連でも４～６月までは悪かったようだが、７月に入って受注が大幅に改善している。

○「やや良くなっている」

（家電量販店）…例年に比べ気温が高いため季節商材の動きが良い。

（乗用車販売店）…徐々にではあるが、販売量は前年並みの数字に近づきつつある。

（高級レストラン）…客の動きが活発であり、来客数が前年を上回っている。また、夏祭りなどのイベントにより、インバウンドの宿泊客なども見込める状況である。

（都市型ホテル）…プレミアム付商品券の利用が増えており、単価的にもちょっと高額なランチ商品などの販売が好調である。また、天候も穏やかであり売上に寄与している。

（自動車整備業）…プレミアム付商品券やプレミアム付宿泊券の発売により、今月は普通の月よりも活発に消費活動が展開されている。

（建設業）…公共工事を中心として受注が増加傾向にある。

（輸送業）…現時点では物量が順調に推移している。

（広告代理店）…選挙や、新規オープンした水族館の影響で仕事量は増えている。

（人材派遣会社）…就職活動をしている大学４年生の学生達がかかなり強気な就職活動をしている。内定をもらっても就職活動を止めずに、より大手を目指す動きが今月は一層強くなっている。

（職業安定所）…有効求人数の前年同月比は７か月連続で増加している。また、有効求職者数も前年同月比が１６か月連続で減少しており、景気は回復しているとみている。

○「変わらない」

（商店街）…暑くはあったが空梅雨で天気が良かったため、人出も多く売上の増加につながっている。ただし、全体的な景気浮揚というよりも、どこかを儉約して必要な消費をするという、しっかりとした消費志向が根付いており、そういう意味では変化はみられない。

（スーパー）…客はプレミアム付商品券をうまく活用しながら買物をしているが、それでも財布のひもが固い状況が続いている。

（コンビニ）…来客数は前年比 101%であり回復傾向にあるが、客単価は前年比 98%とふるわない状態である。そのため、トータルとしては売上が伸びずに苦戦している。

（住関連専門店）…ここしばらくは高額商材の売行きが悪く、小物の販売が多いため、どうしても単価が低い状態となっている。

（ガソリンスタンド）…販売量は依然として前年割れが続いている。しかし、プレミアム付商品券の利用に伴う販売量の増加がみられる。

（通信会社）…放送関連の商品は低迷しているが、通信関連の商品はメニューが他社と比較して低価格のため解約も少なくなり、新規加入が若干増加しており、好調である。

（観光名所）…夏休み前までは客が特に動かない時期であり、イベントなどで集客を図るものの、効果が薄い状態である。

（美容室）…夏休みに入り、以前であれば行楽地へ出かける前にカットやセットをする客が増えていたが、今ではその費用を旅行代に回す客がほとんどである。

（住宅販売会社）…住換えの顧客が動き始めており、受注量は伸びている。しかし、客単価が低く売上金額は伸びていない。

(食料品製造業) …月の前半は特に動きが悪い状態であった。プレミアム付商品券が発売されてから少し動きが良かったものの、前年の数字に届いておらず、客単価も前年を下回っている。

(企画業) …従来にも増して得意先から値引きを迫られることが多い。また、定期発行物の価格見直しや、仕様変更などによる事実上の経費削減のあおりを受けることが多くなっている。

(新聞社[求人広告]) …求人広告の前月比は横ばいであり、新たに採用数を増やそうとする動きはみられない。また、同じ企業が期間従業員の募集を断続的に出稿している動きに変わりはない。

○「やや悪くなっている」

(寝具販売店) …猛暑が続いているが、夏物商品がなかなか売れない状況が続いている。

(百貨店) …品質重視で価格を意識しない客がいないわけではないが、バーゲン品でも定価品でも価格をじっくり比較検討してから購入する客が目立っており、このことから1品単価、客単価共に下落傾向にある。また、上顧客と思われる客が、かなり以前に購入したバッグのお直しを持ち込むケースや、旧紙幣や2千円札を使用して買物をするケースが増えてきている。

(衣料品専門店) …サマーセールに入ったが、来客数が伸びずに単価だけが下がっており、非常に厳しい状況である。また、プレミアム付商品券に期待をしていたが、主に食料品や日用品の購入に使われているようである。

(一般レストラン) …3か月前と比較して来客数の動きは鈍く、単価は例年並みであるものの、販売量が減少している。また、一部の業種を除いて、客や同業者からも景気が良いという話は聞かない。

(旅行代理店) …プレミアム付商品券の取扱も出てきているが、既存の客が活用している様子であり、需要の増加につながっていない。また、単価の低いものが多く売れており、高価な旅行が売れていないのが実情である。

(設計事務所) …仕事量が少ない状態であり、また、周囲からも仕事量が減少しているという話を多く聞いている。

(繊維工業) …台風や天候不順などにより、店頭売行きが悪い。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(衣料品専門店) …秋物本番を迎えて、今よりも活気が出るとみている。

(遊園地) …9月は大型連休がある。そのため各所がにぎわうとみており期待している。

(民間職業紹介機関) …派遣での非正規社員の募集が増加傾向となっている。

○「変わらない」

(医薬品販売店) …プレミアム付商品券が好調な売上をみせているが、それを実際に使用する客はまだあまりみられておらず、動きが鈍い状態である。12月末が使用期限であるので年末までには良くなるとみているが、この先2~3か月は動きの鈍い状態が続くのではないかとみている。

(スーパー) …プレミアム付商品券の効果は早くも薄れており、目玉商品だけを買回るなど、お盆前の買い控えに入っているように見受けられる。節約志向は今後も続きそうである。

(コンビニ) …例年どおりの推移であれば、夏~秋の季節の変化とともに売上も少しずつ落ち着いてくることが見込めるが、競争が厳しい現状においては現状維持が精一杯である。

(美容室) …プレミアム付旅行券やプレミアム付商品券が出回っているが、表面的には少し良くなったようにみえるものの、根底の景気回復が実感できないため、先行きがそう極端に変わることはないかとみている。

(食料品製造業) …既存商品の売上減少分を新商品の売上でカバーする営業活動が続くとみている。

(一般機械器具製造業) …顧客ごとの受注の増減に大きな変化がみられていない。また、海外需要も地域によって低迷を続けており、輸出額の急激な伸びが期待できない状況である。

(建設業) …資材の値上がりが続き工事単価が上昇しているため、利益的に問題がある。しばらくは現在の傾向が続くとみている。

(人材派遣会社) …求人広告件数は、前年と比較しても横ばいで推移するとみている。しかし、広告効果が低調なため1件当たりの単価は低下傾向にあり、大型求人広告は見込めない状況である。

(職業安定所) …業種を問わず、人手不足の深刻な状況が続いている。特に製造関係では、人手不足により生産量が増やせない、売上が伸ばせないという声を聞くことが多い。

○「やや悪くなる」

(商店街) …プレミアム付商品券の盛り上がりもせいぜいお盆過ぎまでではないか。また、最近では経験したことのないような猛暑に見舞われており、来客数に影響が出ているため、この暑さが長引くことを懸念している。

(一般レストラン) …8月はお盆だけは人が集中して動くものの、その他の3分の2の期間は静かになってしまう。これを変えるために個々でイベントは行っているものの、一過性でありエリア全体が分散しているため、全体的にみれば景気は下向いていくとみている。また、9～10月は農繁期であり、街に出てくる時間がない人が多いため、景気が上向く要素は薄い。

(観光型旅館) …プレミアム付旅行券などの販売により予約が7～8月に集中している。そのため、9月の予約状況が思ったより伸びておらず、苦戦しそうである。また、9月の大型連休や土曜日は問い合わせも多いが、他の曜日の動きは鈍いままである。

(旅行代理店) …3か月の先行受注状況を見ても、販売量が前年を下回っている。

(農林水産業) …T P P交渉においてアメリカ産米の輸入枠拡大が設けられる見通しであり、米価が更に下落するのではないかと懸念している。

(輸送業) …荷主の生産が計画値どおりに進まない見通しであり、その影響が徐々に表れるとみている。

(広告代理店) …お土産品の売上増加が広告関係の受注量にも影響してくるが、笹かまぼこの包装紙や掛紙などの出荷が良くない状況である。

(経営コンサルタント) …現在の消費活性化効果は一時的なものであり、その効果が無くなった後、他にプラスとなる材料が見当たらない。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以 上